

4つの力を伸ばし、社会人基礎力を強化する

課題発見力

傾聴力

発信力

巻き込み力

2・3年目社員 フォローアップコース

セミナーのねらい

- ①活躍できる人材になるために 2・3 年目社員の視点の拡大を図ります。
- ②社会人基礎力のなかでも、2・3 年目のうちにしっかり訓練しておいて欲しい「課題発見力」、「傾聴力」、「発信力」、「働きかけ力（巻き込み力）」について学びます。
- ③現場での行動変容、自己成長につながるきっかけをつくります。

■参加対象 ●新卒入社 2・3 年目の若手社員
●第 2 新卒の新入社員

■講師（敬称略） **田中和義**（たなか かずよし）
一般社団法人日本能率協会 専任講師
株式会社エス・シー・ラボ 代表取締役
ビジネスコーチ

■開催日時 [時間] 2 日間とも 10:00 ～ 17:00

大阪開催	2025 年 4 月 22 日 火 ～ 23 日 水
オンライン	2025 年 6 月 10 日 火 ～ 11 日 水
オンライン	2025 年 9 月 10 日 水 ～ 11 日 木
オンライン	2025 年 11 月 26 日 水 ～ 27 日 木
オンライン	2026 年 3 月 12 日 木 ～ 13 日 金

■開催会場 日本能率協会 関西事務所 研修室
（大阪市北区梅田）

■オンライン Zoom による配信

■参 加 料 ●法人会員…66,000 円／1 名（税込）
●会 員 外…75,900 円／1 名（税込）

プログラム

<昼食時間 12:00～12:50>

1 日目 10:00～17:00

1. オリエンテーション

- ・自己紹介（講師・参加者とも）
- ・ねらいと効果について
- ・講義の進め方（オンラインは使用法や注意点など）

2. 自分自身の視点を拡大するために

- ①自分自身と周囲を考える
・周囲から見た自社について考える（個人ワーク、グループワーク、全体共有）
- ②現在と未来を考える
・5 年後の未来と会社の姿、求められる人材について考える（個人ワーク、グループワーク、全体共有）
- ③自分自身の在り方考える
・今後、活躍できる人材になるために（個人ワーク）

3. 社会人に求められる 3 つのスキルについて理解する

- ①カットモデルについて理解する
- ②テクニカルスキル、ヒューマンスキル、コンセプチュアルスキルについて
- ③ヒューマンスキルを磨くために

4. 社会人基礎力を理解する

- ・社会人基礎力を構成する 3 つの能力と 12 の要素について
- ・自分自身の社会人基礎力を考える（個人ワーク）

5. 「課題発見力」を学ぶ【ロジカルシンキング】 演習

- ①ビジネスにおいて論理的思考力が必要な理由
- ②考えることとは何か？
・言葉と思考を具体的にする ・イシューを押さえる
- ③論理をつくるための基本を知る
・帰納法と演繹法 ・物事を構造化する ・MECE
・フレームワークの活用（SWOT、3C、マーケティングミックス）
- ④問題解決の順序
・what, why, how
・演習「儲からないお店を繁盛店にするには」
- ⑤ロジックツリーの作成方法
・ロジックツリーの作成方法を知る ・演習

6. 本日のまとめと振り返り

2 日目 10:00～17:00

7. 「傾聴力」を学ぶ

【コミュニケーションスキル「聴く力」】 演習

- ①コミュニケーションの構造を理解する
- ②なぜ「聴く力」が必要なのか？
- ③傾聴力で人間関係を好転させる
- ④アクティブリスニング（積極的傾聴法）の技法を学ぶ
- ⑤演習（アクティブリスニング実践）
- ⑥「質問力」で相手の本音を引き出す
- ⑦オープンクエスチョンの技法を学ぶ
- ⑧気づきのメカニズムについて
- ⑨質問の種類と効果的な使い方を知る
- ⑩演習（オープンクエスチョントレーニング）

8. 「発信力」を学ぶ

【コミュニケーションスキル「伝える力」】 演習

- ①「伝える力」とは何か？
- ②話が分かりやすい人になる 7 つのポイント
・話が明瞭で簡潔になる PREP 法 ・5W1H で具体的に話す
・たとえ話でわかりやすくする ほか
- ③ビジネスシーン別 説明の方法
(A) 状況を上司に説明する
(B) 指示した人に報告する（報連相の構造とポイント）
(C) 製品を顧客に説明する（FABE 法）

9. 「巻き込み力」を学ぶ【リーダーシップ基礎】 演習

- ①巻き込み力とは何か？
- ②巻き込み力に求められる要素
・巻き込み力に求められる要素について理解する ・演習（個人ワーク）
- ③巻き込み力とリーダーシップの関係
- ④リーダーシップを発揮するために

10. 研修のまとめと振り返り

11. 現場で、行動できるようになるために

- ①アクションシート作成（個人ワーク）
- ②発表（グループ内発表、もしくは全体発表）

※プログラムは変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

